

創立152周年 学校だより

令和7年6月27日(金)



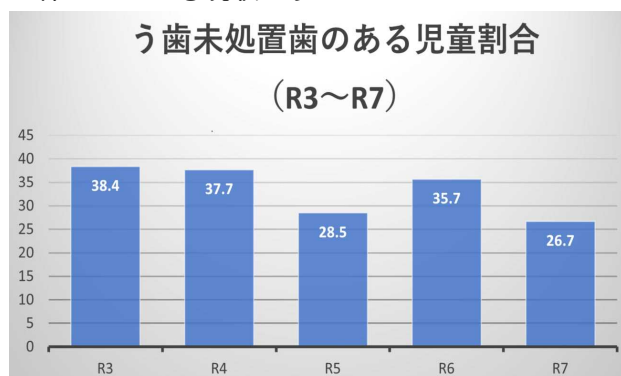
勿来二小

第13号

いわき市立勿来第二小学校長

「ストップ！むし歯放置」

下のグラフは、むし歯を治療せずにそのままになっている割合を表したものです。昨年度よりは、割合が減ってはいますが、最近5年間、同程度の割合で推移しており、むし歯の未処置児童の割合が全体の1/3いる現状です。



乳歯のむし歯を放置しておくと、永久歯にも影響が出ると言われており、たいへん心配です。そこで、学校から通知が届いた保護者の方には、たいへんお忙しいところ申し訳ないのですが、お子さんをぜひ歯科医院に連れて行っていただきたいと思ひます。

お子さんで治療が怖いという場合も見受けられますが、最近では寝ている間に治療が終わるスリープ治療を行う歯科医院もあるようです。お子さんの健康を守る上で、夏休み終了までを目途に、ぜひ治療を進めていただき、「勿来二小児童むし歯0」を達成したいと思ひます。

今後、治療が始まっていないご家庭には治療への働きかけを学校よりさせていただくこともありますので、ご了承いただければと思ひます。下の資料をご覧ください、ご協力をよろしくお願いいたしします。

<資料>

学校医による歯科検診で受診勧告があった児童

1年生 18名(むし歯 7名 うち2名治療済)

2年生 28名(むし歯 16名 うち1名治療済)

3年生 17名(むし歯 5名 うち2名治療済)

4年生 13名(むし歯 3名 うち1名治療済)

5年生 18名(むし歯 4名 うち0名治療済)

6年生 18名(むし歯 5名 うち0名治療済)

受診勧告通知後、通院し歯の状態を歯科医師に診ていただいた児童 28/112名

☆ご注意ください！「ストップ！むし歯放置」☆
むし歯の放置は、児童虐待に当たるネグレクト(育児放棄や育児怠慢)と捉えられてしまう場合があります。具体的には、「病気やけがをしても病院に連れていかない。」に当てはまります。

R7勿来二小の先生

じんの ゆみ
名前 陣野 優実 先生

担当 さくら学級

出身 いわき市

Q1:お仕事の内容を教えてください。

A1:さくら学級の担任です。さくら学級で勉強をしたり交流学級に行ったりしています。

Q2:どうして先生になろうと思ったのですか。

A2:頑張っている人を応援するのが好きなので、先生になろうと思いました。

Q3:好きな言葉と理由を教えてください。

A3:「今あるもので何ができるか考えよう」です。無いものじゃなく、あるものに目を向けて、自分ができることを日々しよう！と、何となく前向きになれる言葉だからです。

Q4:子ども時代の夢は何でしたか。

A4:カウンセラーの先生です。人の悩みを聞くのが好きでした。

Q5:もし、今現在、1日だけ違う職業になれるとしたら、何になってみたいですか。

A5:タクシーの運転手です。ドライブが好きなので、1日中、ひたすら運転したいです。

Q6:お休みの日はどんなことをしていますか。

A6:お休みの日は家族と過ごします。2才と1才の長女長男、だんなさんとお出かけをしたり、お家でのんびりして過ごしています。

いわき教育事務所長訪問と 学校評議員会がありました



6月12日（水）午前にいわき教育事務所長訪問がありました。所長さんと次長さんによる授業参観が行われ、校長室では本校の概要説明を校長が行いました。お二人から、「授業の雰囲気がとても良く、子どもたちの意欲的な姿が素

晴らしい。」と、お褒めの言葉をいただきました。

また、午後には学校評議員会が行われました。今年度、学校評議員として本校のためにご意見やお知恵をいただける方々をご紹介します。

今年度、お引き受けいただける5名の学校評議員の方々に委嘱状を交付し、学校評議員の職務内容について説明した後、授業参観を行いました。各教室を訪問し、子どもたちが授業に真剣に取り組んでいる様子をご覧いただきました。

令和6年度 勿来第二小学校学校評議員

安島	伸夫	様	（関田連合自治会長）
伊藤	晃子	様	（主任児童委員）
上原	薫	様	（勿来第二中学校長）
柳澤	友美	様	（勿来第二中学校 PTA 会長）
坂本	良幸	様	（勿来第二小学校 PTA 会長）
以上5名			

また、校長から本校の概要や現状について説明し、お一人ずつご感想やご意見をいただきました。むし歯の未処置児童の割合が全体の1/3いる現状について、「ぜひ無料で治療できるのであるから、保護者の皆さんには、お子さんを歯科医院に連れて行っていただきたい。」など、健康面を配慮したご意見をいただきました。



3人に1人がむし歯になっており、しかも治療をせずにそのままになっている現状がデータから分かります。この状況は、上のグラフをご覧いただいてもわかるように、最近4年間、同程度の割合で推移しています。乳歯のむし歯を放置しておく、永久歯にも影響が出ると言われており、たいへん心配です。そこで、学校から通知が届いた保護者の方には、たいへんお忙しいところ申し訳ないのですが、お子さんをぜひ歯科医院に連れて行っていただきたいと思えます。お子さんで治療が怖いという場合も見受けられますが、最近では寝ている間に治療が終わるスリープ治療を行う歯科医院もあるようです。お子さんの健康を守る上で、夏休み終了までを目途に、ぜひ治療を進めていただき、「勿来二小児童むし歯0」を達成したいと思います。今後、治療が始まっていないご家庭には治療への働きかけを学校よりさせていただくこともありますので、ご了承いただければと思います。下の資料をご覧いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

＜資料＞

学校医による歯科検診で受診勧告があった児童

1年生 19名（むし歯16名　うち6名治療済）
2年生 14名（むし歯5名　うち2名治療済）
3年生 11名（むし歯6名　うち2名治療済）
4年生 17名（むし歯9名　うち2名治療済）
5年生 24名（むし歯9名　うち2名治療済）
6年生 13名（むし歯1名　うち1名治療済）
受診勧告通知後、通院し歯の状態を歯科医師に
診ていただいた児童　48／98名

☆ご注意ください！「ストップ！むし歯放置」
むし歯の放置は、児童虐待に当たるネグレクト（育児放棄や育児怠慢）と捉えられてしまう場合があります。具体的には、「病気やけがをしても病院に連れていかない。」に当てはまります。